

教えてネ 地域のお話

地 じっくり手間をかけ 県産大豆でみそ作り

元産品を活用した加工品作りに関心を持ってもらおうと、2月24日、園芸振興センター加工研修室で、県産大豆を使ったみそ作りの講習会が開催されました。

農事組合法人河辺農産加工組合の石塚茂樹さんを講師に迎え、今回学んだのは、ゆっくり時間をかけて発酵させる天然醸造という方法。参加したみなさんは、オリジナルのみそが上手にできるように、作業の手を休めずに積極的に質問しながら、講師の丁寧な説明に真剣に耳を傾けていました。



講師の石塚さんが手にした大豆は県産でもさらに厳選したものです



おいしくな～れ、おいしくな～れ



容器につめて、あとはお家で上手にねかせるだけです

県産大豆はより旨味が出ることので、そのポテンシャルを引き出そうと、みなさん米こうじと混ぜ合わせる工程は特に力が入った様子。十分なじむよう、自分の納得がいくまで、ポウルに入れたふかした大豆を手ひらでグイグイと押しつぶしていました。

この日作ったみそは1人約1・5キロで、この量だとひと夏超える頃に完成するそうですが、それまでにさらにこまめに、保管場所の湿度や温度などにも気を配ることが大切なポイント。じっくりと手間がかかる分、できあがりも楽しみですね。みなさんの手作りみそが、半年後、おいしくなりますように！

気持ちも和む♪ 手作りのつるし飾り

んわりやさしい、色とりどりの古い着物の端切れで作られた人形や花びらなどがズラリ！これは、上新城の農山村地域活性化センターさとびあで開催されていた「つるし飾り」の展示会の様子です。

たくさんのかわいらしい飾りを手作りで仕上げたのは、地元「ゆりの会」のみなさん。6年



彩り豊か！ カラー写真じゃないのが残念です



ゆりの会のみなさん。会員は現在10人です

前からはじめたつるし飾りの制作が、いまでは農閑期の楽しみのひとつになっているのだとか。代表の三浦エツ子さんは、「会員同士、教え合いながら一つ一つ丁寧に作りました。今後機会があれば、こうして展示会などを開いて、たくさんのかたにみていただきたいですね」とニコリ。赤やピンクのにぎやかな雰囲気、春の訪れが一段と待ち遠しい気持ちになりました♪

# 広報クイズ No.355



広報クイズは、毎月第3金曜日発行号に掲載しています。正解したかたの中から抽選で10人に図書カード1,000円分を差し上げます。

広報あきたや市政テレビ番組の感想などを添えて、ご応募ください。

**Q1** 5月開催！「東北●まつり2022 秋田」。●に入る漢字は？

**Q2** 再発見！ 秋田城跡は日本最北の●●城柵。●に入る漢字は？

\*答えは広報あきた3月4日号・18日号の記事中から探してね♪

## 応募方法（応募は1人1件です）

はがき、FAX、Eメールに、「広報クイズ」と明記し、答えと住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号を書いて、3月25日（金）（必着）まで、〒010-8560 秋田市役所広報広聴課 FAX(888)5472

Eメール ro-plpb@city.akita.lg.jp

\*採用された際、氏名の記載を希望しないかたは、ペンネームも忘れずにお書き添えください。

## 2月18日号の当選者（敬称略）

前回のクイズの答え

Q1 = 23日 Q2 = 金足東小学校

**当選者**▶あやとん（飯島）、エビスの恵（将軍野）、川村 博（新屋）、子吉光夫（泉）、すいかいちご（大平台）、畠山敏子（川尻）、ぶくぶく（桜台）、マー君（手形山）、まなみ（飯島）、やよい（山王）

\*応募件数192件のうち、正解は190件。

担当から



気持ち高鳴る春服を迎えるべく、久々にクローゼットをひっくり返してお片付け。年を重ねると、好みのアイテムはより明確に、何

年も前に買ったモノでも「あらっ♡、と、ときめくことが。ワードローブに欠かさないアイテムになっているシャツは、今回も戦力外通告はお預け。それでも春服はやっぱりシャツを探してしまうのかな～。だって、新しい気分で新年度を迎えたいじゃないですか♪（片）

## ちよつと一息 読者の伝言板



● 成年年齢が18歳に引き下げられる4月1日に、長男は成人になります。知らなかったで済まされないので、今度家族で「18歳成年」について話してみようと思います。広報を見て思いました

（もなか 46歳・山王）  
● 油谷これくしょんへ行つてみようと思います。昭和のおもちや、駄菓子、みんな懐かしくよみがえります。歌もいま

だに口ずさめる。貧しくても幸せな時代だったかも  
（佐々木亮子さん 66歳・雄和）  
● 学生時代、雪国民俗に関心をもち、仲間と油谷さんを訪ねたことを思い出しました。大切な宝物として全国に発信してほしいです

（幸月 73歳・御野場）  
● 健康にはだいぶ自信があったけど、最近少々心配になり、かかりつけの医院で骨粗しょう症の検査をしたら、かなり数値が下がっていてびっくり。月1回のお薬を飲むことになりました。年齢がいったら検査の大切さが身にしみました（アチャノ 70歳・雄和）

● ミルハスが外から見ることができて、ワクワクしています。オープンが楽しみですね  
（スカイブルー 50歳・茨島）  
● 広報で「防災ネットあきた」の存在を初めて知り、早速登録しました。役に立つと思うので家族や友人にも教えたいです（石川奈那子さん 30歳・土崎港）

● 今年は雪が多くて大変な年でした。ようやく春を迎えようとしています。もうフキノトウは顔を出す準備をしているのでしょうか。早く桜が咲いて、暖かくなることを望む毎日です  
（ゆきだるま 53歳・山王）

## ご希望のかたに「声の広報」を郵送します

視覚障がい者で希望するかたに、広報あきたを朗読し録音した「声の広報（CD）」を、月2回無料で郵送します。

詳しくは広報広聴課へ。☎(888)5471・FAX(888)5472

なお、視覚障害2級以上で学齢児（おおむね小学生）以上のかたを対象に、視覚障がい者用CD再生機を1割負担（非課税のかたは無料）で購入できる制度もあります。制度について、詳しくは障がい福祉課へ。

☎(888)5663・FAX(888)5664